

湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第2回協議会 報告

平成20年3月25日（火）

10:00~12:00

湖北地域振興局 1階会議室

1. 開 会

去る3月25日（火）に第2回湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会が開催されました。この協議会は、湖北圏域2市6町が、国・県と共に専門的な学識経験等に基づく助言を頂きながら、姉川・高時川等の洪水や土石流危険渓流等からの土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図るものであります。

今回は、第1回協議会にて承認された下記の検討項目に対する成果の報告と、成果に対しての議論が行われました。



【第1回協議会で承認された平成19年度の検討項目】

- ・ 市町界を超えた広域的な避難計画の検討
(避難勧告の共通した基準作り、広域ハザードマップ)
- ・ 自主防災組織の活動強化支援の検討
(地域防災力アンケート調査を受けて、課題および対策を検討)

2. 議 事

①今年度の検討結果の報告について

庶務より以下の検討項目に対する成果ついて報告いたしました。

- ・ 避難勧告等の発令判断支援資料（案）について
- ・ 避難所にかかる市町相互応援協定（案）について
- ・ 長浜ドームの活用について
- ・ 北陸自動車道の活用について
- ・ 虎姫町洪水ハザードマップの作成支援について
- ・ 地域防災力アンケート結果について

③成果に対する質疑応答・意見交換

これらの成果について、各委員から様々な建設的な意見が出ました。以下に、主な意見を箇条書きで示します。

【各委員からの主な意見】

- 避難勧告等の発令判断支援資料（案）で提示している「水位観測所と地元が把握している危険箇所の河川水位の換算表」は、地域にとって本当に必要とされている「きめ細やかな情報提供」を可能とするものである。今後更なる精度向上に向けて、引き続き取り組んで頂きたい。
- 避難所にかかる市町相互応援協定（案）について、今後実際の水害時の状況をシミュレートした上で、県および市町間で具体的にどのように調整するかを考えて頂きたい。
- また、机上のみならず、避難訓練等で本当に実行力を伴う協定であるかの検証をしていくこと、さらには課題を抽出し、実行力を磨くことが重要である。
- 地域防災力アンケートについて、現在は一次集計結果が終わった段階であるが、今後気になる項目については、もっと突っ込んだ分析を行い、弱点の原因を追及する必要がある。
- また、今回は自治会長に対してのアンケートであったが、逆に行政に対しても同じような質問を行い、「行政における防災力診断」を行うことも重要な視点である。

この他にも多くの建設的意見が挙がり、非常に活発な議論の場となりました。

また、これらの意見を踏まえ、平成19年度の検討成果について、全委員の承認を得ることができました。

3. 次年度以降の検討項目（案）について

庶務より次年度以降の検討項目（案）について提案し、全委員の承認を得ました。以下に、主な検討項目（案）を箇条書きで示します。

【市町界を超えた広域的な避難計画の検討】

- 避難勧告等の発令判断支援資料（案）の精度向上
- 広域避難の検証（広域避難訓練）
- 広域避難計画の詳細検討
- 長浜ドーム宿泊研修所の活用について
- 北陸自動車道の活用について（中日本高速道路（株）と協議）

【自主防災組織の活動強化支援対策の検討】

- 地域防災力アンケート結果より湖北圏域での課題を抽出し、対策を検討する

4. 閉 会

今年度、協議会2回と実行委員会6回を重ねて、有意義に議論ができたと思います。また、国においても本協議会の検討項目を先進的な取組事例として注目しています。次年度以降も、一つ一つ前進しながら、できるだけ早く地域住民の方々へ還元していけるようみんなで力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。